

エコプラザ多摩の施設改修に関わる、多摩市議会での審議と住民説明会実施の経過（抜粋）

2005年12月2日

多摩市議会平成17年第4回定例会（第2日）

165 富所富男議員

その他プラスチック製容器包装類の中間処理についてお伺いいたします。

容器包装リサイクル法対応の場合も含めて、かさばるその他プラスチック製容器包装類をリサイクルルートに乗せるには圧縮梱包する必要があります。しかし、この中間処理施設をめぐっては、いろいろトラブルが生じています。その一例がお隣の町田市であります。町田市では、市が分別収集したものを搬入することを前提にして、民間業者が圧縮梱包施設を整備することを計画しています。既に京王相模原線の多摩境駅に近い、東京都が区画整理事業を行った土地を購入済みであります。しかし、隣接する八王子市の南大沢地区の住民などが中心になって、反対運動を展開しています。既にご案内のとおり、反対運動の最大の理由は、圧縮梱包施設が周辺住民にいわゆる杉並病のような健康被害を発生させるのではないかと懸念があるからであります。

杉並病とは不燃ごみの圧縮を行っている杉並区内の中継所が排出する有害物質が原因となっていると言われている健康被害であります。この問題は多摩市でも決して例外ではありません。

そこでお伺いいたしますが、多摩市の場合、分別収集したその他プラスチック製容器包装類はどこで圧縮梱包する予定なのでしょう。現在、検討中のルートをすべて明らかに願います。また今後、多摩市の施設において圧縮梱包する計画があるのかも合わせてお伺いいたします。

167 渡辺幸子市長

エコプラザ多摩は、開設以来、本市における資源化の中心的役割を果たしてきました。「その他プラスチック製容器包装」の資源化に当たりまして、このエコプラザ多摩の施設を活用していきたいと考えています。

収集した「その他プラスチック製容器包装」は、エコプラザ多摩で保管、引き渡しを行い、選別・圧縮・梱包は外部に委託する考えです。

将来的には、そのときの社会状況を踏まえ、幾つかの選択肢の中から適切な処理方法に取り組みたいと考えております。

2005年12月9日

平成17年第4回定例会（第7日）

142 宮本欣一ごみ対策担当課長（遠藤めい子議員の質問に答えて）

こちらにつきましても、部長が説明したとおりでございますが、その変更場所、その収集場所につきましては、先ほど申し上げましたように、初年度は、来年の7月からその他プラスチックを収集させていただきます。そういったしまして、容器包装リサイクル協会に出す際には、引き取り場所を指定しなければなりません。それについては、やはり前年の10月までに指定をしなければいけないということになってございます。そうしますと、私どもが今考えているのは、市で収集をして、市外の施設へ持って行って、そこで圧縮、梱包、保管、引き渡しまでやっていただきたいんですが、引き渡し場所はまだここでは指定できません。それで、資源化センターを指定をして出したということでございます。

そうしますと、収集して、収集したものを市外の施設へ持って行って、選別をして、圧縮・梱包して、固まりにしたものを容器包装リサイクル協会に出せば、そこから出せばいいんですが、初年度はそこから出せませんので、1回資源化センターに戻ってきます。そして資源化センターから容器包装リサイクル協会に持っていくと。ちょっと、先ほど篠塚議員さんもむだではないかというようなお話も若干ございましたが、初年度はそれは法上やむを得ない部分がございます。ですから、2年目からは、先ほど部長が申し上げました。業者がある程度見えてくれば、その業者を前年の秋までに指定することによって、エコプラザに戻ってくるルートがなくなるというような形でございます。

147 鈴木講史ごみ有料化担当課長（遠藤めい子議員の質問に答えて）

今回プラスチックを資源化するというので、それについての費用は当然かかってまいります。ただ、その中での資源化に向けての努力をする、これは燃やさず埋め立てずという基本の中でやっていきたいと思っております。

その中で、先ほど篠塚議員さんのご質問の中で、ちょっと補足も含めながら、もう1度整理をさせていただきたいと思っております。今回、平成17年度にスタートする場合につきましては、収集する場所はエコプラザ多摩というのが拠点ということでございます。エコプラザ多摩の中の機械も優先的に使えるものは使うということの中で、今整理をさせていただいています。

先ほど部長よりご答弁させていただきましたように、他市の例をとると、直送方式がトン16万円かかると。また、積みかえをすればトン8万円かかるということでございますけれども、今私のほうで積算コスト等をはじめている中では、エコプラザの中の機械をうまく転用しながら、そこでうまく積みかえをするという必要最低限ということ、今トン5万円ぐらいを考えております。

その中で、今後またごみの広域化の問題とか、それから他市の例とか、そういう中でや

っていきたいと。この中で、例えばプラスチックの圧縮梱包する機械を入れますと、約2億円近くの初期的な経費もかかるということでございますので、今エコプラザにある機械をうまく使い、また施設もうまく活用しながら、最低限の施設でやっていきたい。

それから、先ほど市長が答弁したように、容器包装リサイクル法もまだまだ見直しも続いている状況がございます。そういう中で、高価な機械、安全度を高めた中での大きな機械を買ってしまいますと、また後年度負担ということになりかねませんので、今ある機械を最大限有効利用しつつ、他市の例を見ながらの必要最低限の額でいくようにしていきたいというふうに考えております。

220 鈴木講史ごみ有料化担当課長

先ほど補足のご説明をさせていただきました。その中での直送方式というのが、先ほど言ったとおりで、トン16万円かかるということでございますけれども、今、エコプラザ多摩に集積する場合のコストの計算の中でご説明でございますけれども、まず工事にかかるというものについての種類でございますけれども、まずプラスチックの圧縮・梱包機を買わなければいけないというようなものが、大体1億数千万円ということございまして、その中での施設絡みの建設費の中で、それらを見込みますと約2億円かかるということで、今、先ほどご答弁させていただいています。

そういう中で、また、それらエコプラザでやった場合の管理運営費でございますけれども、今の委託業者等も勘案しながらも、うまくコスト削減しながらですけれども、年間3,000万円近くはかかるということを考えております。

それから先ほどの中のプラスチックの数量のトン数でございますけれども、今私のほうでは約2,000トン进行处理するという能力の中で計算をしております。

2005年12月21日 平成17年第4回定例会（第8日）

138 武内好恵議員

（前略）先日の補正予算での質疑、また建設環境常任委員会での質疑は多くの市民にこれで大丈夫なのかと不安を抱かせるものになったと考えます。特に、新たな取り組みを始めるプラスチックの資源化では、エコプラザの今後の活用状況についてもしっかりと考えた方が示されていません。将来的に圧縮、梱包、保管を行う施設であれば、近隣の自治会役員だけではなく、広く多摩市民に周知すべきです。今、町田市で廃プラスチック処理施設建設が問題になっています。

事の起こりは、この施設建設用地の周辺住民が全く情報がない中での不安から大きな問題に発展してきている流れがあります。市民への説明責任をしっかりと果たすべきです。

2006年7月22日（土）

- ・諏訪中学校体育館で住民説明会を実施。
- ・諏訪4丁目、5丁目と永山の全戸に文書を配布して告知
- ・参加者32人

2006年9月7日 平成18年第3回定例会（第5日）

203 富所富男議員

昨年9月の第3回定例会において、汚れていないプラスチックごみの取り扱いについて、市長の見解を伺いました。分別基準によれば、これは燃やせないごみとして分別をすることになっております。ところが、収集後、搬入先の清掃工場の手選別ラインでわざわざ分別をし直し、焼却を行っております。これは市民の分別努力をないがしろにするものであり、速やかに改めるべきであると申し上げました。これに対する市長の答弁は、ごみの分別基準と処理状況の相違は極力なくしていくべきものと認識しているというものであります。

しかし、あれから1年たちますが、プラスチックごみについては、相変わらず分別基準と処理実態が乖離した状態が続いています。今にして思えば、全くその場しのぎの無責任な答弁でありました。

205 渡辺幸子市長（富所富男議員の質問に答えて）

（前略）地球環境の保全と循環型社会への転換や最終処分場の長期活用のために、ごみ減量と資源化への取り組みは重要であり、分別の徹底と「燃やせるごみ」の削減、「燃やせない

いごみ」の約6割を占めるプラスチック類を適正に処理・資源化することなど、総合的に取り組む必要があると考えます。

ごみ減量後の分別種別ごとの推計値については、本議会の補正予算でお願いしている、容器包装プラスチック等の圧縮梱包ラインの稼働や、平成20年4月に向けた有料袋によるごみ収集に係る市民説明に向けて、現在整理し直しているところであり、できるだけ早い時期に改めてお示しする考えであります。

その内容については、継続した市民との対話や説明会、市民との協働によるごみ減量啓発活動等を通じてPRに努めてまいりたいと考えております。

2006年9月8日 平成18年第3回定例会（第6日）

231 富所富男議員

施設の整備、あるいはまた整備後の円滑な運営という意味で、地元の説明会が欠かせないと思います。私も1度説明会に出させていただいておりますが、説明会の今のところの実施状況、それから、参加をされた住民の皆さんの主な声があったらお聞かせいただきたい。それから、今後の説明会の予定と言いましょ、開催のための考え方などについてもあわせて伺いたいします。

232 渡辺龍一環境推進課長

周辺のお住みの方々等への説明につきましては、昨年秋に周辺の自治会役員の方々にご説明をさせていただき、本年7月には、周辺の諏訪4丁目、5丁目、永山地区にお住まいの方全員を対象としたエコプラザの設備改修についての基本的な説明をさせていただきました。また、団地の役員会につきましても説明をさせていただきました経過がございます。

今回ここで予算を認めていただきますと、今後、業者の確定後、具体的な内容の説明も引き続き地元の方々にお話しをさせていただき、業者確定後につきましても、適宜説明を実施してまいる予定でございます。

233 富所富男議員

平成20年の4月に本格的な稼働をしたいというお話から逆算しますと、当然、地元の理解もどの程度かということになると思うんですが、大体の、どの程度の理解を得られればゴーサインだというふうに、これなかなか相手のあることであれですので、もしお話しができる範囲があればお教えいただければと思います。

234 渡辺龍一環境推進課長

私ども、今までも適宜ご説明をさせていただきまして、周辺の方々につきましては、平成

11年の10月から、私どもが施設を安全に、また、衛生的に運営を行ってきたこと、それから、プラスチックの一部でございますペットボトルの圧縮も続けてきたということの中で信頼をいただいていると考えております。また、説明会を開催させていただいた中でも、皆さん方のご理解をいただいておりますし、また、施設についての説明についても、適宜今後も実施していただきたいという要望を受けておりますので、引き続き施設について、具体的な内容についても説明していきたいと思っておりますので、基本的に皆さん方の理解はいただいていると考えております。

235 富所富男議員

隣接地で同じような施設整備をめぐっているいろいろありました。私の印象では、ボタンのかけ違いがスタートの時点では大変あったのではないかと感じております。そういう意味で、今までと同様、誠意を尽くして、十分に住民の皆さんの疑問に答える、また、今後の方向性について、適宜、運営状況について情報提供するということを、ぜひお願いをしておきたいと思えます。

2006年9月11日

多摩市議会において、エコプラザ多摩の改修工事に関わる予算（平成18年一般会計補正予算）を可決。

2006年9月16日（土）

- ・はるひ野において、住民説明会を開催。
- ・施設からの距離500mの住民を対象にポスティングで告知（「エコプラザ多摩の施設改修」
との名目）
- ・参加者は2,3名
- ・説明会資料（別紙）

2006年11月

エコプラザ多摩改修の関する生活環境影響調査（アセスメント）報告書が作成される。
プラスチックの圧縮による化学物質の影響については、調査せず。